

平成29年度「宝くじ松」配布・植栽事業の概要

No.	都道府県	団体名 (植栽地)	マツの種類と規格 (m)	本数 (本)	植栽趣旨
1	宮城県	NPO法人悠久の郷 (龍舞崎公園)	抵抗性クロマツ H=0.6	500	東日本大震災の被害が甚大であった気仙沼大島はその後、クロマツの被害が島内に広がり、震災前の「緑の真珠の島」とうたわれた面影はない。平成27年度にも助成を受け、第1回目の復興植樹を終えたが、海岸の修景や防風林、防潮林として、第2期の植林を行いたい。町民一丸となり植栽を行い、島の未来、先人の残した緑の島の復興への道のりになりたい。なお、実施は特定非営利活動法人悠久の郷と大島崎浜区美和自治会の協働で行う。
2	福島県	新地町 (釣師防災緑地)	抵抗性クロマツ H=0.4	1,900	東日本大震災により被災した沿岸部に、津波減災施設として防災緑地(都市公園)の整備を行う。盛土構造と樹林帯の整備による津波減災機能だけでなく、遊具やイベント広場を整備し、失われた海辺の賑わいの創造を図る。このため、耐潮性に優れたクロマツを植栽することにより、津波減災効果を向上させるだけでなく、震災津波により流出した沿岸部の緑の再生を目的とする。
3	神奈川県	(公財)鎌倉市公園協会(鎌倉海浜公園 稲村ガ崎地区)	抵抗性クロマツ H=1.5	12	平成16年度にも「宝くじ松」を植栽。台風等の塩害によるマツ枯れのための補植。
4	富山県	滑川市吉浦町内会 (滑川市吉浦海岸)	抵抗性クロマツ H=1.1	200	滑川市吉浦町内は富山湾に接し、今まで松林により田や宅地が守られてきました。しかし、近年、松くい虫被害により多くの木が伐採されました。昔の松並木を再生するため、町内一体となってこの事業に取り組みます。
5	石川県	大島区自治会 (大島キャンプ場)	抵抗性クロマツ H=0.6	1,200	大島キャンプ場は、年間約7,500人がキャンプや海水浴に利用する施設であり、毎年志賀町からの補助を受けながら松苗植栽等の保全活動を行ってきた。しかし、近年猛威を振るっているマツ材線虫病により、被害木が植栽本数を大きく上回る現状が続いている。キャンプ場としての景観及び利用者の安全を図り、健全な松林の保全のために抵抗性クロマツの植栽を行いたい。
6	愛知県	亀崎潮干祭保存会 (衣浦湾区域内亀崎 海浜緑地)	抵抗性クロマツ H=3.0、H=1.5 各15本	30	亀崎は、江戸時代に尾州廻船で大きく繁栄し、この繁栄を背景に亀崎潮干祭が発展した。この祭りが地元の努力で今日まで継承され、現在、国の重要無形民俗文化財となり、この12月にはユネスコ無形文化遺産に登録されようとしている。この祭りのハイライトは、絢爛豪華な五輻の山車の海浜への曳き下ろしや浜での人形技芸である。本事業は、ユネスコ登録を記念して、この海浜にクロマツ林をつくり、かつての山車と松林が一体となった昔の風景の復興を図るものである。
7	三重県	鈴鹿市 (東磯山緑地)	クロマツ H=1.0	38	鼓ヶ浦(つづみがうら)海岸にはマツの海岸林があり、防潮・防風・飛砂防止・津波軽減など近隣住民の暮らしを守っている。しかし、平成25～26年までにマツ材線虫病被害が拡大し、海岸林としての機能を果たさなくなることや、枯れた枝の飛散により集落や人身に危険を及ぼすことが懸念されてきた。この対策として、危険木及び被害木の伐採や健全木の樹幹注入を実施してきたが、今後、かつての海岸林の再生を目指してさらに植栽を行いたい。
8	福岡県	芦屋町 (白浜保安林)	抵抗性クロマツ H=0.5	1,000	本町の森林は、地域住民の生活に密着した里山等の広葉樹と海岸線に臨む松林等の針葉樹で構成されている。これらの森林は自然環境の保全や風害・飛砂・塩害から田畑、住宅、道路等を守る機能を果たしてきたが、近年の松くい虫被害の拡大によるマツの減少により、その機能が減退してきている。このたびのマツ植栽事業の実施は、地域住民と一体となり前述の森林による環境保全機能の回復を図ると同時に、町木ともなっているクロマツを次世代へ受け継いでいくために行うものである。

No.	都道府県	団体名 (植栽地)	マツの種類と規格 (m)	本数 (本)	植栽趣旨
9	福岡県	三里松原防風保安 林保全対策協議会 (三里松原)	抵抗性クロマツ H=2.0	50	岡垣町のシンボルである三里松原は、化石燃料への転換や、面積が広大で十分な管理が行き届かないことから広葉樹が繁茂している状況にあり、それに加え、マツ枯れ被害が急激に増加したことで、松林としての存続が危惧される状況にある。このことから、松枯れにより壊滅的な状態にある松林の早期の再生のため、また、松原の存在価値を再認識してもらい保全活動の普及を推進することを目的に、多くの人の目に触れる場所から町民ボランティアによる植樹を行う。なお、植付け場所は、潮風の影響を受けにくいことから、植付けの間隔を広くとり、樹高1～2mのマツを植栽することで、松林の早期形成を目指す。
10	福岡県	NPO里浜つなぎ隊 (幣の浜)	抵抗性クロマツ H=0.25	1,000	幣(にぎ)の浜は、芥屋(けや)の大門(おおと)と野北(のぎた)浜を結ぶ6kmに至る弓張形の砂浜で、日本の白砂青松100選にも選ばれています。幣ノ松原はマツ枯れで壊滅的な被害を受けました。当NPOは、松林を再生・保全するために、各種団体・企業の協力を得ながら活動を行っています。28年度も本事業の助成を受けましたが、対象範囲が広いため、29年度も助成を希望します。
11	鹿児島県	南九州市みどりの推 進協議会 (南九州市馬渡公 園)	抵抗性クロマツ H=0.3	1,400	植栽地は、市有林であり防潮保安林として潮風・飛砂などから住宅や農地を守る役目を担ってきたが、数年前よりマツ材線虫病による松枯れが深刻になってきており、保安林としての機能を失いつつある。抵抗性マツを植栽することにより、地域の安心安全な環境を整備するとともに、隣接する自治会所有の広場は地域住民の憩いの場としてゲートボールやグラウンドゴルフなどに幅広く利用されるなど、心の癒しや安らぎを与えられるような広場として市民一丸となり更なる自然環境の保全に取り組むことが期待される。
			合計	7,330	